**（申請様式1）**

記入要領、記入例は削除して提出ください

A4・12枚を目安にポイントをおさえ、査読者が読みやすいよう留意して作成してください。

**早暁プログラム（ステージ2） 申請書**

　　年　　月　　日提出

**1．課題名**

（記入例）　○○○技術の事業化検証

課題名は、ステージ2申請に際して、ステージ1時点から変更可能です（ステージ1と同じ名称のままでもかまいません）。

**2．本プログラムでの活動概要**

本プログラムでの活動内容全体が分かるように１５０文字以内で簡潔に記述してください。

図、表の使用は不可です。e-Rad上の研究概要に転記いただきます。

**3．事業化人材・研究代表者の連絡先情報**

＜事業化人材＞

氏名：　　　　　　　　　　　　フリガナ：

所属機関：

部署　　　：　　　　　　　　　　　　　役職：

＜研究代表者＞

氏名：　　　　　　　　　　　　フリガナ：

所属機関：

部署　　　：　　　　　　　　　　　　　役職：

**4．技術分野**

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発分野 | チェック欄 |
| ライフサイエンス |  |
| 化学・環境・エネルギー |  |
| 情報通信 |  |
| ナノテクノロジー・材料 |  |
| 農林水産 |  |
| 宇宙 |  |
| その他 |  |

※左の表で該当する分野のチェック欄に、「レ」を記入ください（複数選択可）。

※「その他」の場合は内容を自由に記載ください。

　「その他」の研究開発分野の内容　：

**5．ビジネスモデルの概要**

(1)ステージ1での活動状況

※ステージ1でどのような活動・検討を行い、本ビジネスモデルの提案に至ったかを簡単に記載してください

※ビジネスモデルの実現にあたり、本技術シーズに注目した理由も記載ください。

(2)ステージ1での活動により作成したビジネスモデルの概要

　(2-1)対象の市場、顧客候補

※現時点での対象とする市場や顧客候補について記載ください。

※既にコンタクト可能な顧客候補ヒアリング対象があれば記載ください。

※コンタクトするためのネットワークを持っていない顧客候補については、

どのような手段でのコンタクトを考えているのか、記載ください

(2-2)課題解決

※顧客のどのような「課題」を解決するのか。

※「何を」事業として提供することによって解決するのか

※そのプロダクトやサービスをどのように生産して顧客に提供するのか

(2-3) 想定市場規模

※プロダクトやサービスで想定する市場規模を記載してください

(2-4)競争優位性

※プロダクトやサービスの競争優位性を記載してください

表やポジショニングマップなどを活用し、わかりやすく記載してください。

（※「競合技術はなく、比較はできない」といったような記載はせず、直接比較できない場合でも、顧客にとってのサービスやビジネスとして競合となり得るものと比較し、今回提案するビジネスモデルやサービスが提供する独創性、優位性について説明ください）

(2-5)収益モデル

※プロダクトやサービスを「誰に」対して提供し、どのように料金をもらうのか

※コスト構造、利益の流れも含めてについて記載してください

(2-6)成長性

※どのように事業を拡大し、どのような成長戦略を想定しているのかについて記載してください。

(2-6)その他

※上記では記載することができなかった、ビジネスモデルに関する補足説明事項があれば記載してください

**6．技術シーズの内容**

(1)発明（周辺特許を含む）

※当該技術シーズに関する主な知的財産権などを記載ください。

※特許の場合、発明の名称、特許番号（または出願番号）、発明者、出願人、出願日、

　　単願or共願を記載ください。

　　記載例：aaaの装置およびその製造方法、第xxx号(特願20yy-zzz)、○○○○、xyz大学、

20xx年y月z日出願、単願

※特許以外の知的財産権の場合、上記同様の情報を記載ください。

※特許を保有していない場合は、今後の知的財産権戦略を記載してください。

※この項目は、上記以外記載しないでください。

（2）内容・特徴

※背景、現状の問題点、競合技術に対する独創性・新規性・優位性、これまで得られた研究成果を、図表やデータを用いて具体的に記載してください。

※特許化によらないノウハウやソフトウェア等に関する技術の場合は、その詳細について記載ください。

(3)当該技術シーズに関する他の企業とのアライアンスやライセンス契約等の状況

※当該技術シーズについて、既に企業と共同研究を行っている場合やライセンス契約等がある場合は、その状況について具体的に記載ください。

※将来、当該技術シーズによるスタートアップを創出しようとした場合、技術シーズの発明者、技術シーズが帰属する機関等（共願の場合は共願人）の同意や協力が得られているか、その他に関連する発明が無いか、などについて記載ください。

(4)当該技術シーズの創出、育成に寄与した公的支援制度

※当該技術シーズの創出に関して、支援を受けた競争的研究資金、助成金などについて記載ください。

(5)当該技術シーズの創出に寄与した研究開発の業績

※提案の技術シーズに関係する研究論文や著書があれば記載ください。

※箇条書きとし、著者名、タイトル、掲載誌名（書籍名）、巻、号、ページ、発行年等の情報、概要も含めて記載ください。

※論文等の業績が多い場合、本提案に関係する業績に絞り込んでください。

（本様式のページ制限（A4・12枚までを目安）を遵守ください）

**7．事業化に向けたビジネスモデル検証活動の概要**

※ステージ1でどのような活動・検討をもとに記載してください。

(1）課題終了時の達成目標

(2）検証活動等で明らかにしたい事業化および研究開発の仮説

　(2-1)明らかにしたい仮説１

　　・仮説の内容：〇〇〇○○

※可能な限り、「仮説の内容」と「実施内容」を紐付けして記載ください。

※適宜項目を追加・修正して構いません。

※仮説検証として、今回の活動期間中に何を明らかにする必要があるかを、具体的に記載してください。

　＜仮説の視点例＞

　　・顧客が望む製品の特長や、必要となる機能・仕様・サービス価値

　　・対象顧客のもつ課題や、課題に対する現時点の対応方法

　　・コストと販売価格

　　・競合製品・サービス

　　・市場の規模や成長性

　　・製品が採用されるプロセス

　　・FTO調査

　　・具体的な流通経路（バリューチェーン）　等

【事業化活動】

　　・活動時期：〇月

　　・検証に必要な実施内容・活動の内容：

　　　〇〇〇（顧客へのヒアリング等）を行い、エビデンスとして△△△を取得する。

【研究開発】

　　・研究開発の時期：〇月

　　・検証に必要な研究開発の内容：

　　　〇〇〇（顧客へのヒアリング等）を行い、エビデンスとして△△△を取得する。

　(2-2)明らかにしたい仮説2

　　・仮説の内容：〇〇〇○○

　　【事業化活動】

　　・活動時期：〇月

　　・検証に必要な実施内容・活動の内容：

　　　〇〇〇（顧客へのヒアリング等）を行い、エビデンスとして△△△を取得する。

【研究開発】

　　・研究開発の時期：〇月

　　・検証に必要な研究開発の内容：

　　　〇〇〇（顧客へのヒアリング等）を行い、エビデンスとして△△△を取得する。

　(2-3)明らかにしたい仮説3

　　・仮説の内容：〇〇〇○○

　　【事業化活動】

　　・活動時期：〇月

　　・検証に必要な実施内容・活動の内容：

　　　〇〇〇（顧客へのヒアリング等）を行い、エビデンスとして△△△を取得する。

【研究開発】

　　・研究開発の時期：〇月

　　・検証に必要な研究開発の内容：

　　　〇〇〇（顧客へのヒアリング等）を行い、エビデンスとして△△△を取得する。

(3）活動スケジュール

　（記入例）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 2025年 |  |  |  |  | 2026年 |  |  |
| 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 【参考】  プログラム全体のスケジュール |  |  |  | 合宿会議 | メンタリング |  |  | 成果報告会 |
| 事業化活動 |  | 顧客ヒアリング  （仮説検証１） | 市場調査 | ヒアリング  （仮説検証2） |  | 市場調査  （仮説検証3） | 成果報告会準備 |  |
| 研究開発活動 |  |  | 研究開発  （仮説検証１） | 研究開発  （仮説検証2） |  | 研究開発  （仮説検証3） |  |  |

※（2）で記載した明らかにしたい仮説を検証するための活動スケジュールを記載してください。

※適宜項目を追加・修正してください。

**8．活動の推進体制**

(1)事業化人材

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **氏名** | **所属機関名** | **部署名** | **役職** | **役割分担** | **ｴﾌｫｰﾄ(%)** |
| ○田○郎 | ○○ | ○○ | ○○ | ビジネスモデルの検証、顧客ヒアリング | 20 |

(2)研究代表者

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **氏名** | **所属機関名** | **部署名** | **役職** | **役割分担** | **ｴﾌｫｰﾄ(%)** |
| ○山○夫 | ○○大学 | 大学院工学研究科 | 准教授 | 研究開発全体の統括 | 20 |

(3)主たる共同研究開発者

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **氏名** | **所属機関名** | **部署名** | **役職** | **役割分担** | **ｴﾌｫｰﾄ(%)** |
| ○川○子 | ○○大学 | 大学院工学研究科 | 准教授 | 研究開発項目の中で、○○○を担当 | 20 |

※　研究代表者の所属機関（A）と異なる研究機関（B）に研究開発費が必要である場合、

・研究機関（B）における責任者を記載ください。再委託の実施は認めておりませんので、

主たる共同研究開発者の所属する共同研究開発機関とJSTが直接、委託契約を行います。

・以下の通り、申請様式2　予算計画も追加作成してください。

* 研究代表者所属機関の予算計画
* 主たる共同研究開発者の所属機関の予算計画（複数の場合は全て必要）

作成にあたり上記いずれの表か、簡単に識別できるよう明記すること。

※エフォートは「研究に携わる個人が研究、教育、管理業務等の各業務に従事する時間配分」と定義されています。申請の際は「全仕事時間に対する当該研究の実施に必要とする時間の配分割合」を記載してください。この「全仕事時間」には、研究活動にかかる時間のみならず、教育活動や管理業務等にかかる時間が含まれることに注意が必要です。

(4)研究開発・事業開発参加者

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **氏名** | **所属機関名** | **部署名** | **役職** | **役割：分担内容** | **ｴﾌｫｰﾄ(%)** |
| ○○○○ | ○○大学 | 大学院工学研究科 | 博士２年 | フィールドテスト補助（リサーチアシスタント） | 20 |
| ○○○○ | ○○大学 | 大学院工学研究科 | 博士１年 | 研究開発業務の補助 | 20 |
| ○川○郎 | ○○ | ○○ | ○○ | ビジネスモデルの検証、顧客ヒアリングの協力 | ２０ |

チームアップの経緯・理由：

※研究代表者および事業化人材双方がチームアップした経緯や理由について記載してください。

**9．事業化人材、研究代表者、主たる共同研究開発者の専門分野、研究開発経歴等がわかる略歴**

※事業化人材、研究代表者、主たる共同研究開発者について、

専門分野や研究開発経歴などがわかる略歴を各人につきＡ４・１枚以内で記載してください。

　　ただし、本課題に関係するキャリア等に絞ってください。

(1)事業化人材

※事業化人材については、経歴の他、参画している他のプログラム（経営者候補として参画しているGAPファンド、NEDO MPMに採択されている機関で実施中のプログラム、EIR（客員起業家）として参画しているもの等）がありましたら、記載してください。

(2)研究代表者

(3)主たる共同研究開発者

※主たる共同研究開発者がいない場合には削除してください。

**10．利益相反マネジメントについて**

※事業化人材、研究代表者等が類似事業のベンチャー企業の経営に関与している場合や、研究開発参加者が類似の既存事業に関与している場合などの状況を記載ください

（過去に関与していた場合も含めて明記ください）。

　例）

　　　・研究代表者が大学発ベンチャーＡ社の取締役を兼業している

　　　・事業化人材がベンチャーＢ社の取締役である

※上記状況について、利益相反の関係が想定される場合は、当該関係を具体的に記載し、

実施する利益相反マネジメントを説明ください。

# 11．応募時点での他制度での助成等の有無（民間財団・海外機関を含む）

・研究代表者及び主たる共同研究開発者が**現在受けている、あるいは申請中・申請予定の**国の競争的資金制度やその他の研究助成等（民間財団・海外機関を含む※）について、研究開発課題ごとに、研究開発課題名、研究費の額、研究期間、役割（代表／分担）、本人受給研究費の額、エフォート、実施・申請に当たっての所属機関と役職、提案課題との相違点・関連性を記入してください。(公募要領「4.2 不合理な重複・過度の集中に対する措置」参照)

※「統合イノベーション戦略2020」において「外国資金の受入について、その状況等の情報開示を研究資金申請時の要件」とすることと定められました。これを踏まえ、「他制度での助成等の有無」の様式に海外からの研究資金についても記入することが求められます。国内外を問わず、競争的資金のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費などの研究資金について全て記載してください。

・早暁プログラムの申請内容と関連のないものも記載してください。

・間接経費を含めた額を記載してください。

・事実と異なる記載をした場合は、研究課題の不採択、研究の中止又は減額配分とすることがあります。

(1)研究代表者：○○○○

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **番号** | **制度名** | **受給**  **状況** | **研究開発**  **課題名**  **(代表者氏名)** | **研究費の額** | **研究**  **期間** | **役割**  **(代表/**  **分担)** | **(1)本人受給研究費**  **(期間全体)**  **(2) 〃 (2027年度 予定)**  **(3) 〃 (2026年度 予定)**  **(4) 〃 (2025年度 実績)** | **2025年度**  **ｴﾌｫｰﾄ(%)** |
| - | 早暁プログラム | 申請 | 課題名  （〇〇〇） |  | 2025.8-2026.3  ・記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。  ・早暁プログラム申請課題を必ず１つ目に、次にその他研究課題を本人受給研究費(期間全体)が多い順に記入してください。  ・早暁プログラム申請の技術シーズとの関連有無に関わらず、記入してください。  ・必要に応じて行を増減してください。  【注意事項】  （１）「受給状況」  以下のいずれかを記入してください。  ・受給：現在受給中または受給が決定している課題。  ・申請：申請中または申請予定の課題。  早暁プログラム申請課題を除き、「申請」に該当する課題についてエフォートは記入しないこと。  （２）「役割」  以下のいずれかを記入してください。  ・代表：その研究課題において、代表者として研究費を受給  ・分担：その研究課題において、代表者以外の立場で研究費を受給  （３）「本人受給研究費」  以下に従って、研究費（年度別・総額）を千円単位で記入してください。  （ア）代表者として研究費を受給した研究課題  「代表を務める研究チーム（共同研究チームは除く。研究チームが本人のみの場合は代表者本人）」  が受給した研究費  （イ）代表者以外の立場で研究費を受給した研究課題  「本人が分担者のグループ代表者として所属する研究グループ（分担グループが分担者のみの  場合は分担者本人）が受給した研究費  （４）「エフォート」  申請中・申請予定の課題（受給状況に「申請」と記入したもの）については、エフォートは記入しないでください。  また、早暁プログラム申請課題のエフォートと、その他受給中の研究課題のエフォートとの合計が100%を超えないようご注意ください。（e-Rad上で採択の処理ができない場合があります。）  （５）「重複実施の制限」  本事業では他事業との重複実施の制限を設けています。公募要領「2.11 重複実施の制限について」を必ずご確認ください。 | 代表 | (3)4,500　千円 | 9．活動の推進体制と同値を記入 |
| 1 | 科学研究費  補助金  基礎研究(S) | 受給 | ○○の創成  （〇〇〇） |  | 2024.4  －  2026.12 | 代表 | (1)　100,000　千円  (2)　 50,000　千円  (3)　 25,000　千円  (4)　 5,000　千円 | 20 |
| ※実施・申請に当たっての所属機関と役職 | | | | | | | |
| ※ 早暁プログラム申請との切り分け（簡潔に記載） | | | | | | | |
| 2 | JST戦略的創造研究推進事業（CREST） | 申請 | ○○の高機能化  （〇〇〇） |  | 2025.4  －  2028.3 | 分担 | (1)　 60,000　千円  (2)　 20,000　千円  (3)　 8,000　千円  (4)　 - | - |
| ※実施・申請に当たっての所属機関と役職 | | | | | | | |
| ※ 早暁プログラム申請との切り分け（簡潔に記載） | | | | | | | |
| 3 |  |  |  |  |  |  | (1)　 　千円  (2)　 　千円  (3)　 　千円  (4)　　　　　 　　千円 |  |
| ※ 早暁プログラム申請との切り分け（簡潔に記載） | | | | | | | |

(2)主たる共同研究開発者：○○○○

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **番号** | **制度名** | **受給**  **状況** | **研究開発**  **課題名**  **(代表者氏名)** | **研究費の額** | **研究**  **期間** | **役割**  **(代表/**  **分担)** | **(1)本人受給研究費**  **(期間全体)**  **(2) 〃 (2027年度 予定)**  **(3) 〃 (2026年度 予定)**  **(4) 〃 (2025年度 実績)** | **2025年度**  **ｴﾌｫｰﾄ(%)** |
| - | 早暁プログラム | 申請 | 課題名  （〇〇〇） |  | 2025.8  －  2026.3 | 代表 | (3)　　千円 | 9．活動の推進体制と同値を記入 |
| 1 | 科学研究費  補助金  基礎研究(S) | 受給 | ○○の創成  （〇〇〇） |  | 2024.4  －  2026.12 | 代表 | (1)　100,000　千円  (2)　 50,000　千円  (3)　 25,000　千円  (4)　 5,000　千円 | 20 |
| ※実施・申請に当たっての所属機関と役職 | | | | | | | |
| ※ 早暁プログラム申請との切り分け（簡潔に記載） | | | | | | | |
| 2 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ※実施・申請に当たっての所属機関と役職 | | | | | | | |
| ※ 早暁プログラム申請との切り分け（簡潔に記載） | | | | | | | |